

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点										★推進方針								
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ						
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1									
1	継続	仙台市医師会	-	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿病精密検査 6/22～6/27 37名 生活習慣病検査 10/16～10/19 238名 貧血検査 8/28～10/13 878名	糖尿病精密検査 6/25～6/28実施 生活習慣病検査 10/22～10/25実施 貧血検査 8/26～10/18実施	○	○																	
2	継続	仙台市医師会	-	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き（改訂版）を活用し、指導・助言を行う。	通年 嘱託医・管理校医等が求めに応じて指導・助言を行った。	通年 嘱託医・管理校医等が求めに応じて指導・助言を行う。																			
3	継続	仙台市医師会	-	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通年 延べ74,158名	通年実施																			
4	継続	仙台市医師会	-	産婦健診事業	産婦健診受診者	・産婦健診の中で貧血や妊娠高血圧症、妊娠糖尿病などの産婦に直後の食事指導などを行う。また、支援が必要な産婦については、行政を連携し積極的に指導する。	通年 延べ11,333名	通年実施																			
5	継続	仙台市医師会	-	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通年 乳児健診 延べ19,440名 1歳6か月児健診 7,205名 3歳児健診 7,778名	通年実施	○	○	○	○															
6	継続	仙台市医師会	-	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、検査項目の一つ血清尿酸は、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾病の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	令和5年6月～令和6年3月 特定健康診査 59,524名 基礎健康診査 47,570名 動機付け支援 539名	令和6年6月～令和7年3月実施	○	○																	
7	新規	仙台歯科医師会	-	妊婦歯科健診・フッ化物歯面塗布事業の一体的取り組み	妊婦・乳幼児期	妊婦歯科健診は受診率は50%にせまりフッ化物歯面塗布事業も30%を超えている。この状況を鑑みて本事業が切れ目なく一体的に機能すべき仕組みをモアスくする必要がある。またフッ化物歯面塗布事業はフッ化物歯面塗布にとどまらず、乳幼児期からの咬合咀嚼機能の健やかな育成をサポートすべきである。このような取り組み達成に向けてかかりつけ歯科医機能の充実とそれをサポートする行政・大学等の仕組みを考えたい。	令和5年度受診率は妊婦歯科健診は46%、フッ化物歯面塗布助成事業は45%と経緯している。妊婦歯科健診の際に周知することで2つの事業の連続性を啓発した。	本事業のさらなる受診率向上を目指し実施する。また、歯と口の健康づくり計画（第3期）における乳幼児期からの「食べる力のサポートブック（仮）」作成に当たって関係各所と連携する													○	○	○				
8	継続	仙台歯科医師会	-	市民向け冊子の配布	一般市民	・冊子名：スマイル（食の大切さや、より良い食事に関する啓発）	R6年3月発行	R6年度内に発行	○	○	○	○															○

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点										★推進方針		
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1			
9	継続	仙台歯科医師会	-	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	各歯科校医や嘱託歯科医が担当校にて実施	通年			○	○							○	○	
10	継続	仙台歯科医師会	-	支援学校での摂食指導	児童・保護者・職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	鶴谷特別支援学校(6月20日)	通年			○	○							○	○	
11	継続	仙台歯科医師会	-	仙台市PTAフェスティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活について啓発	R5年度、参加要請なし	R6年度、参加要請なし			○	○							○	○	
12	継続	仙台歯科医師会	-	フッ化物歯面塗布助成事業	乳幼児	乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年で実施 R5年度受診率45.7%	通年で実施			○	○								○	
13	継続	仙台歯科医師会	-	口腔機能低下症に関する学術講演	歯科医師及び関連職種	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演	実績なし	現在検討中			○	○	○						○	○	
14	継続	仙台歯科医師会	-	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	コロナ禍により中止	本年度、再開にむけて関係団体と調整中			○	○	○						○	○	
15	継続	仙台歯科医師会	-	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等での食に対する啓発	R5年度、参加要請なし	各地区の区民祭り等の再開に呼応して、地域地区班の会員歯科医師から再開の希望が届いている。地域の歯科医師・行政と連携して実施に向けて準備に入っている。			○	○	○						○	○	
16	継続	仙台歯科医師会	-	むし歯予防（特に6歳臼歯について）と生活習慣についてのDVD配布とWEB公開【新規】	園児・児童とその親	NPOSENDAI子育て応援隊ピンポンパン☆が演じる6歳臼歯を題材とした小学校低学年向けむし歯予防と生活習慣の人形劇を撮影編集しDVDを作成し、市内小学校・児童館・保健センターに配布し、仙台歯科医師会HPにて公開する。	200枚作成 市内小学校・児童館・保健センターに配布	予定なし			○	○							○		
17	継続	仙台歯科医師会	市民のつどい実行委員会	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催	一般市民	【市民のつどい実行委員会】 ・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催 ・むし歯・歯周病予防のための生活習慣 ・健康長寿のための食生活とお口の働き ・市内小中学校での取り組みの紹介 など	6月4日から10月末までサイトの公開 <a href="https://s-da.or.jp/shimin-tudoi">https://s-da.or.jp/shimin-tudoi</a>	令和6年度は4年ぶりの実開催を行った。実行委員会各主体が市民啓発を体験コーナーを中心として実施した。食育の分野では特に宮城県栄養士会から子どもから高齢者までライフステージに応じた栄養に関する啓発をおこなった。また、オーラルフレイルに関連付けて舌圧測定や咬合力の検査なども体験してもらった。市民公開講座では現在問題となっている子どものお口ぼかん（口腔機能発達不全）やオーラルフレイルに関する講演を実施した。また、6月4日から10月末までWEB版として公開している。 <a href="https://s-da.or.jp/shimin-tudoi">https://s-da.or.jp/shimin-tudoi</a>	○	○	○	○						○	○	○	
18	新規	仙台歯科医師会	仙台市歯と口の健康づくりネットワーク会議ハローフロスプロジェクト部会	ハローフロスプロジェクト	青年層	健康について忙しい壮年期・豊かな高齢期を健康に迎える習慣習得のためには青年期からの歯と口の健康づくりが重要である。そのために当事者である大学生などの20～30歳代をその活動の主体として歯と口の健康啓発活動を行っていくプロジェクトである。東北大学・仙台市・仙台歯科医師会の協働プロジェクトである。	啓発活動の要となる啓発媒体の作成を行った。具体的にはデンタルフロスつけたリーフレットを作成し、一部配布を行った。	啓発媒体であるリーフレットを作成し春の検診や学園祭を中心に配布・啓発活動を行う予定である。また特定の集団を選定し経時的に行動変容が起こるかを検討する。さらに同事業の高等学校への展開も模索中である。			○							○	○	○	○

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点										★推進方針						
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ				
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1							
19	継続	宮城県栄養士会	-	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発 ・生活習慣病予防、フレイル予防のリーフレットを県民・市民に配布(栄養士会会員全員から公募して県民市民に配布)	生活習慣病予防、フレイル予防のリーフレットを県民・市民に配布(栄養士会会員全員から公募して県民市民に配布)	未定	○	○															
20	継続	宮城県栄養士会	-	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、一般市民に普及、啓発する。	仙台市介護予防月間共催イベント 寺岡市民センター(11月2日) 折立市民センター(11月16日) 黒松市民センター(11月30日) シニア世代向け介護予防栄養講座11か所(令和5年6月～令和6年3月まで)	仙台市介護予防月間共催イベント 福沢市民センター(11月21日)高森市民センター(11月22日)	○	○	○	○													
21	継続	宮城県栄養士会	-	仙台市介護予防月間	一般市民	元気カアップフェスティバル	11月12日	11月24日	○	○	○	○													
22	継続	宮城県栄養士会	-	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	フレイル予防のための栄養について	シニア世代向け介護予防栄養講座11か所(令和5年6月～令和6年3月)	シニア世代向け介護予防栄養講座25か所(令和6年6月～令和7年3月)	○	○	○	○													
23	継続	宮城県栄養士会	-	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談(げんき倶楽部「杜人」の質問回答など)や、食の情報提供など	なし	リビング仙台「元気な腸の作り方」掲載 その他未定	○	○		○													
24	継続	宮城県栄養士会	-	宮城県ケアフェスタ	一般市民	宮城県ケアフェスタ	なし	未定	○	○	○	○													
25	継続	宮城県栄養士会	-	食材王国みやぎ伝え人	児童とその親	・身近な食材を使用した子供でも作れるメニューでの調理実習	宮城県伝え人講座 気仙沼市立南瀬小学校(11月27日) 大崎市立大貫小学校(12月12日)	未定	○	○	○	○													
26	継続	宮城県栄養士会	-	子育て応援団すこやか2023	一般市民	・ミヤテレ主催 食育に関する案件 離乳食・幼児食相談、ゲーム、塗り絵など	子育て応援団すこやか2023(10月14日)	未定	○	○	○	○													
27	継続	宮城県栄養士会	-	福祉に関する研修会	一般市民	・経口移行に関する管理栄養士の役割、要介護高齢施設における嚥下調整食について	おいしく食べるための取組み 在宅・施設でできること(8月20日 会員向けweb開催)	未定	○	○	○	○													
28	継続	宮城県栄養士会	-	地域包括ケアシステム協働プロジェクト	一般市民	・はればれ健康フェスタへの参加	はればれ健康フェスタ(9月10日)	はればれ健康フェスタ(9月8日)	○	○	○	○													
29	継続	宮城県栄養士会	市民のつどい実行委員会	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	【市民のつどい実行委員会】 ・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施する市民のつどいにて、食の大切さについて啓発(今年度は対象者を子供達とする。「元気っ子に大切な栄養ってなに？」動画公開)	歯と口の健康週間 市民のつどい 6月4日～10日(web開催)	歯と口の健康週間 市民のつどい (6月8日)	○	○	○	○													

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点										★推進方針					
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ			
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1						
										朝食の習慣化	食養バランスのよい	健康な歯と口の維持	安全な食生活	の地元食材・郷土料理	和食文化の理解促進	の地元食材・旬の食材	食品ロスの削減	品の周知	環境負荷の小さい食	その他食育に関する	多様なライフスタイル	的・一体的（組織横断）	日常・デジタル（新たな）	
30	継続	仙台市小学校長会	小学校	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取組として、研究主題「食を大切にすることをはぐくみ、健全な心身を養う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	年間3回の研究全体会を開催 ①5/31 総会・研修会 健康教育課指導主事による講話・研究の方向性の共通理解 ②11/8 地区ごと情報交換 地区のテーマに沿った取組を各校から発表・情報交換 ③2/7 各地区代表校の発表 発表に対する健康教育課指導主事の指導講評 ※各校の発表データをアーカイブ化し共有財産とする	年間3回の研究全体会を開催 ①5/29 総会・研修会 健康教育課指導主事による講話・研究の方向性の共通理解 ※R6は、「健やかな体の育成プラン2024」をもとに取組の方向性を確認し、地区テーマに反映 ②11/6 地区ごと情報交換 地区のテーマに沿った取組を各校から発表・情報交換 ③2/12 各地区代表校の発表 発表に対する健康教育課指導主事の指導講評 ※各校の発表データをアーカイブ化し共有財産とする																
31	継続	仙台市小学校長会 仙台市中学校長会	小・中学校	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中、栄養教諭・学校栄養職員部会において、学校における食育の推進に向けて、児童生徒に対する食に関する指導の在り方や学校給食の充実について研究協議し、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上を図る。	○全体では年間の研修計画のもと、講演会・施設見学・調理実習等の研修を行った。 ①4/18 総会・活動計画 ②6/27・11/21 オンラインによる衛生に関する研修 ③10/26 オンラインによる学校給食施設見学 ④12/22 減塩への一歩 調理講習会 コツコツ認定栄養ケア・ステーション 浅野ゆか氏 ⑤2/5 反省会で8つの地区で実施した活動報告  ○仙台市を8つの地区に分け、それぞれの地区でテーマをもとに研修を実施した。食育推進の方策の他、献立開発、衛生管理等、実践的な取組を行った。	○全体では年間の研修計画のもと、講演会・施設見学・調理実習等の研修を行う。 ①4/17 総会・活動計画 ②9/13 「子どもの肥満と生活習慣病 ～小児科医の取り組み、学校の役割～」講師 宮城県立子ども病院 虻川大樹氏 オンラインによる講演会 ③10/ オンラインによる学校給食施設・ごはん工場の見学 ④12/25 学校給食で取り組む減塩・適塩への一歩 調理講習会 ⑤2/7 反省会で8つの地区で実施した活動報告  ○仙台市を8つの地区に分け、それぞれの地区でテーマをもとに研修を実施する。食育推進の方策の他、献立開発、衛生管理等、実践的な取組を行う。																
32	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	・仙台私立幼稚園連合会の各地区研修部、推進委員会を通して各園の状況に合わせて実施・食に関心を持つ（食材の工夫、栄養のバランス、調理の仕方）	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。																
33	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	おたよりやHPからの情報発信	園児・未就園児の保護者	・おたよりやHPを通して、野菜の栽培の様子を伝え、食育の取り組みを保護者に広報し、園児たちの活動の様子、声を紹介し、食育への関心を高めることに努めた。	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。																
34	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	食べるのが楽しくなる食育	教諭・職員	・各地区毎の研修会において、食育推進計画の主旨、内容を伝え、今まで各園で実施してきた活動の見直しや、他の園はどんなことをやっているのか、情報交換の場を設ける	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。																
35	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	食べるのが楽しくなる食育	園児と保護者	・おいしいと感じること、体験することを重視し、また、食育情報として子どもの様子を知らせたり、食のマナーについて伝えていく	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。																

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点										★推進方針							
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ					
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1								
36	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	偏食を減らすための取り組み	園児	・食材の成り立ち・旬・栄養素についてなど知ることで食事に対して関心が深まるようにする。 ・意欲的に食事を知るようになるにはどうすればいいか探る	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。	○	○		○	○	○	○											
37	継続	仙台市私立幼稚園連合会	めるへの森幼稚園・みやぎ幼稚園	食べることが楽しくなる食育	園児	・作物を栽培、収穫し食べる体験	左記の事業内容の通り実施した。	西多田幼稚園・ふくだまち幼稚園で実施する。	○	○	○	○	○													
38	継続	仙台市保育所連合会	-	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所等入所児童と保護者	・保育所等の給食だより・保育参観での働きかけを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣や食文化等についての情報を発信する。	通年実施	通年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
39	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・乳幼児期の栄養管理、食事提供における給食管理、衛生管理等についての理解を深め、施設での実践に繋げる。	「小児の身体機能の発達と食行動について」 「小児の肥満について」 9月21日実施 参加者数175名	「小児の身体機能の発達と食行動について part2」 「災害への備えと発災時の対応」 7月2日実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
40	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会給食担当者研修会	調理員・栄養士	・乳幼児期の栄養管理、食事提供における給食管理、衛生管理等についての理解を深め、施設での実践に繋げる。	「食物アレルギーについて」 9月5日実施 参加者数149名	8月8日実施予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
41	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会給食会研究委員会	栄養士	・研究テーマを設け、乳幼児の食育に関する研究・発表に取り組む。	「ステップアップあさごはん！3」 ～朝食の質の向上を目指して～	通年実施中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
42	継続	仙台市PTA協議会	-	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	・親子料理教室等の開催 ・給食試食会 ・栄養士さんの講話 ・ミニ菜園づくり など			○	○		○	○		○	○								○		
43	継続	仙台市PTA協議会	-	地域行事での食育	小・中学生	・田植えや収穫などの農業体験活動						○	○	○	○											
44	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいぶらんど商品を使ったアイデアを募集し、ホームページで紹介する。	2023年度は実施しませんでした。													○	○	○	○			
45	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶらんど商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	11月末現在 8回のべ113名参加													○	○	○	○			
46	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農業について生産者や専門家の話を聞き自分たちの食生活をみなおす。2023年度は畜産をテーマに。	・9/21映画「希望の給食食と農がつむぐ自治と民主主義」上映会1回 参加15名 ・10/10バレスチナオリブオイル学習会、参加20名													○	○	○	○			



食育推進事業 令和5年度実績および令和6年度計画 ①関係団体事業

資料 1 - 1

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点										★推進方針					
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4 その他	ア	イ	ウ			
									1-1 朝食の習慣化	1-2 食事栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品の周知	4-1 環境負荷の小さい食				その他食育に関する		
56	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	食生活提案の展開	一般市民	みやぎ生協は「食」をだいに健康づくりをすすめます。食生活提案をすすめる4つの基本テーマに沿った「みやぎ生協の食生活提案」を広めます。実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施します。	BDHQ (Brief-type self-administered Diet history Questionnaire) 簡易型自記式食事歴法質問票を用いて、自分の食習慣を見直す2回連続講座を開催。27人参加。			○	○									○	○	○		
57	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	食育活動委員会の活動	一般市民	・食育に興味のあるメンバーが登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学び、メンバーに情報発信する。	今年度は休止					○									○	○	○	
58	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPOおむすび、株式会社仙台水産と共催。宮城の旬の魚介類を素材に調理や学習の援助を実施。 ①「お魚がきっと好きになる料理教室」年1回小学生の親子15組30名募集 ②「さばいて作る大人のお魚教室」年4回各回20名募集	①15組30名参加。 ②6/10は12名参加、10/14は中止。11/18は8名参加。						○	○							○	○	○	
59	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	5 A DAY食育体験ツアー	小学生 幼児(5歳児)	①2005年から実施している小学生向け「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室や売り場を活用して行う。買い物ゲームやサラダ作り見学を交えた食育の授業を5A DAY食育インストラクターを講師に行う。 ②2018年から実施している幼児向け5ADAY「たべるのおはなし教室」は、店舗の集会室や売り場を活用して行う。買い物ゲームやクイズを交えた食育の授業を5A DAY食育インストラクターを講師に行う。	①10校684人参加。 ②5園99人参加。				○										○	○	○	
60	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	日本型食生活提案	一般市民	「つどい」などで日本型食生活について学習	今年度は予定なし														○	○	○	○
61	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	地場商品の普及活動の実施	一般市民	「めぐみ野」品(産直品)、「めぐみ野」米の普及活動の日を設定し、普及活動に取り組む。	各会場で生産者やお取引先様とみやぎ生協のエリアサポーターで実施。																	
62	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	食育体験ツールの提案	一般市民	野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかななどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み3 1・海の恵み38選」を貸し出し、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	3会場に「見てあてよう～野菜・果物の花」の写真を貸し出しました。							○							○	○	○	○
63	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	産地見学会	一般市民	みやぎ生協の産直ブランド「めぐみ野」の美味しさやこだわり、生産者の思いを現場で体感できる『「めぐみ野」産地見学』を開催	8会場で159人参加。														○	○	○	○

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点											★推進方針		
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ	
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1				
64	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	①バケツ稲栽培コンテスト メンバーが家庭で稲を育てる体験をする。17店舗で開催。苗配布とコンテストの2回参加。栽培セットとマニュアル、日誌を配布。 ②田んぼの学校 産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稲刈り体験を実施。各回で申込み。 ③わが家の味噌作り 田尻に圃場を借りて米を栽培したり、生産者の畑で種まきや収穫作業を行う。最終的に自分たちで育て選別した大豆で味噌を作る。全8回。	①17会場で348人参加。栽培日誌のコンテストも実施。 ②各回ごとの申込で、5/14は8家族28人、6/11は7家族26人、10/8は12家族35人が参加。 ③23家族77人参加。															
65	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	J A みやぎ山南「めぐみ野」ねぎ収穫体験	メンバー家族	ねぎ圃場でねぎの抜き取りの収穫体験を行いながら生産者と交流	開催なし															
66	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用したの商品開発を継続して行う ・東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。	新発売商品として10品販売															
67	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	コープフードバンク	一般市民	お取引先の食品企業等から余剰食品の無償提供を受け、社会福祉に寄与する団体・組織等へ無償で提供することを通して、食品の無駄をなくするとともに、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりをすすめる。	・受入量：76.5t（昨年より69t減） ・提供量：91.5t（昨年より53t減） ・食品提供企業・団体数：158団体 ・食品等を提供する施設・団体数：402団体（昨年より6団体増） ・法人サポーター：81社															
68	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民（成人）	健康食品と称して、あたかも症状を緩和させるかのように宣伝し、販売されている機能性表示食品は医薬品と違うことを認識することが重要であること、また、医薬品との併用で健康に悪影響を及ぼす恐れがあることなどを学習します。（会場・オンライン）	「健康食品と医薬品のあぶない関係」と題した学習会に85人（会場、個人視聴、サテライト4か所）が参加。															
69	継続	宮城県生活協同組合連合会	大学生協	食生活アンケートの実施と課題推進委員会の開催	大学生	東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生が集まり、大学生の食生活について考え、大学生協の食育推進をどうするか検討する。	東北の13の大学生協から3211名分のアンケートを回収															
70	継続	宮城県生活協同組合連合会	大学生協	ミールプラン推進	大学生	食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する。	2023年度の年間利用者（新入生）は東北全体で4132名															
71	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	コープフードドライブ	一般市民 福祉施設・困窮者支援団体・こども食堂	各エリアのエリアサポーターが、食品の寄付のよびかけから地域の中で食品を必要としている団体とつながり食品を贈呈するまでを行う。本部職員も年2回実施した。	各エリアの取り組み：延べ39店舗 46エリアで4,593食寄付。 本部職員：2回で2,114食を寄贈。															





No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点											★推進方針						
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ					
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1								
78	継続	宮城大学	宮城大学食産業学群	大学生に向けた食育の推進	大学生	食育関連の授業や研究室ゼミを通して、食に関する知識を提供して意識を高め、学生が自分自身の食生活を見直し、改善することを促す。	2年生：年5回，約100名 3・4年生：月3回，10名程度	2年生：年5回，約100名 3・4年生：月3回，10名程度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	継続	宮城大学	-	高齢者の地域の共食の場を創出等による生涯を通じた食育の推進	高齢者	地域課題として高齢者を対象とした生涯を通じた食育を推進することが重要である。宮城大学（食産業学群）では、近隣地区の町内会等と連携して、共食、フレイル予防、農業体験、地域の食文化の維持継承を組み合わせた地域ぐるみの取り組みを行う。	太白区人來田学区町内会の高齢者：年10回、200名程度	太白区人來田学区町内会の高齢者：年6回、100名程度											○	○	○					
80	継続	仙台市医師会、仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、仙台市小学校長会、仙台市私立幼稚園連合会、仙台市保育所連合会、仙台市PA協議会、宮城県生活協同組合連合会、みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、仙台農業協同組合、仙台白百合女子大学、宮城大学	-	仙台市食育推進ロゴマークの活用	一般市民	関係団体および市内関係各課において、食育推進に関わる事業において、仙台市食育推進ロゴマークを活用し、周知する。	【仙台市小学校長会】 毎月の「学校給食献立表」や「給食だより」「研修資料」等にロゴマークを掲載し、保護者・関係者に周知した。  【仙台市保育所連合会】 随時活用	【宮城県栄養士会】 今後、活用を検討  【仙台市小学校長会】 毎月の「学校給食献立表」や「給食だより」「研修資料」等にロゴマークを掲載し、保護者・関係者に周知  【仙台市保育所連合会】 随時活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							